

未来社会創造事業 探索加速型探索研究
事後評価結果

1. 領域

「顕在化する社会課題の解決」領域

2. 重点公募テーマ

持続可能な環境・自然資本を実現し活用する新たな循環社会システムの構築

3. 研究開発課題名

デジタル防災コミュニティの市民参加型研究

4. 研究開発代表者名（機関名および役職は評価時点）

大石 裕介（九州大学データ駆動イノベーション推進本部 教授（ディレクター））

5. 評価結果

評点： A 優れている

総評：

本研究開発課題は、巨大津波発生時の防災のためにデジタル技術を駆使した『デジタル防災コミュニティ』を構築し、平常時には高齢化社会における地域の助け合いを下支えし、いざ災害時には適切な避難誘導を実現することで、「社会的孤立ゼロ」と「逃げ遅れゼロ」を両立する社会を目指す仕組みを構築するものである。

探索研究期間において、災害時の「想定外」の事象発生にも対応可能な AI 災害予測モデル構築の指針を策定するとともに、災害時における交通制御のリアルタイム最適化の手法等を開発したことを評価する。加えて、複数の自治体においてメタバース等の最新技術を活用したデジタル避難訓練を実施し、その活用可能性を検証する等、デジタル技術を用いた防災の実現に向けて着実な成果が得られたことも評価する。

今後は、災害の AI 予測における「想定外」への対応に向けた技術開発を更に進めるとともに、多くの自治体とのデジタル避難訓練等を通じて本成果を市民社会へ浸透させるうえでの課題と対応策を明らかにすることで、デジタルトランスフォーメーションによる防災対策の革新に貢献することを期待する。

以上